

滝川市交通安全に関する意識調査結果

この意識調査は、滝川市第8次交通安全計画策定に向けて、滝川市交通安全対策会議委員、特別委員及び委員、特別委員の属する団体の役員、会員（職員）等を対象に実施したものです。

- 調査期間 平成23年1月12日（水） 調査依頼発送
平成23年1月28日（金） 提出締切日
- 調査対象 21団体 207人
- 調査方法 郵送等によるアンケート調査

- 回収状況 標 本 数 207
有効回収数（率） 123（59.4%）



平成23年2月

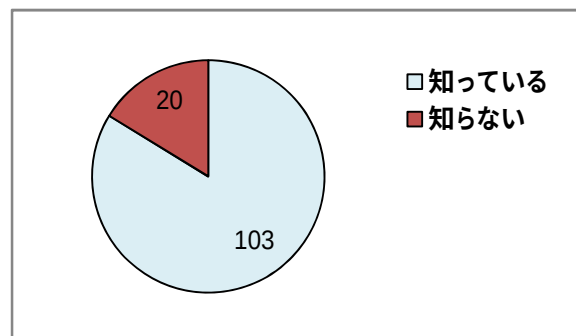
滝 川 市

滝川市交通安全に関する意識調査集計

1. 滝川市では4期（春夏秋冬）の交通安全運動を実施していますが、知っていましたか。

	件数	割合
知っている	103	83.7
知らない	20	16.3
計	123	100.0

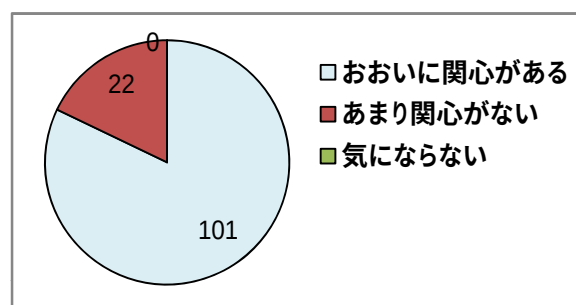
*毎年行われていることから、多くの方に認知されていることが窺える。



2. テレビ、ラジオ、新聞等で交通事故の報道がされていますが、関心がありますか。

	件数	割合
おおいに関心がある	101	82.1
あまり関心がない	22	17.9
気にならない	0	0.0
計	123	100.0

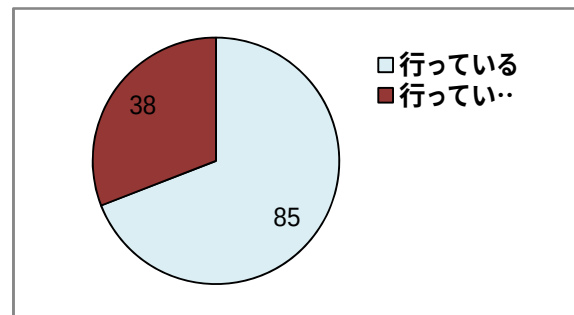
*交通事故報道については多くの方が関心のあることが窺える。



3. あなたの会社（団体・家庭）では、交通安全教育や意識高揚のため何か行っていますか。

	件数	割合
行っている	85	69.1
行っていない	38	30.9
計	123	100.0

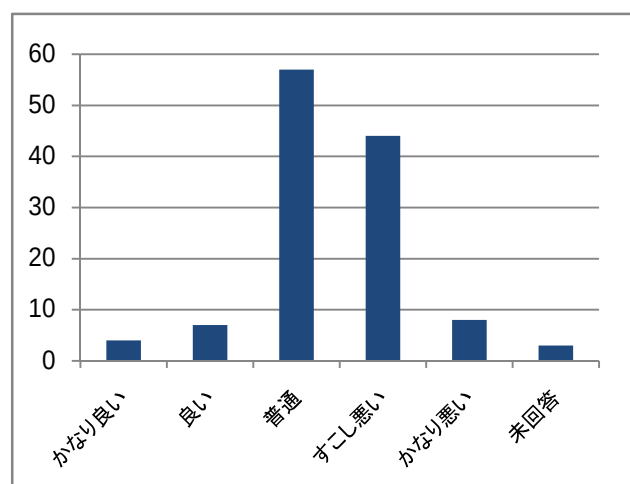
*ほぼ70%が何らかの教育を行っている。
◆記述内容は別紙1



4. 市内で見かける自動車運転者の交通マナーについてどう思いますか。

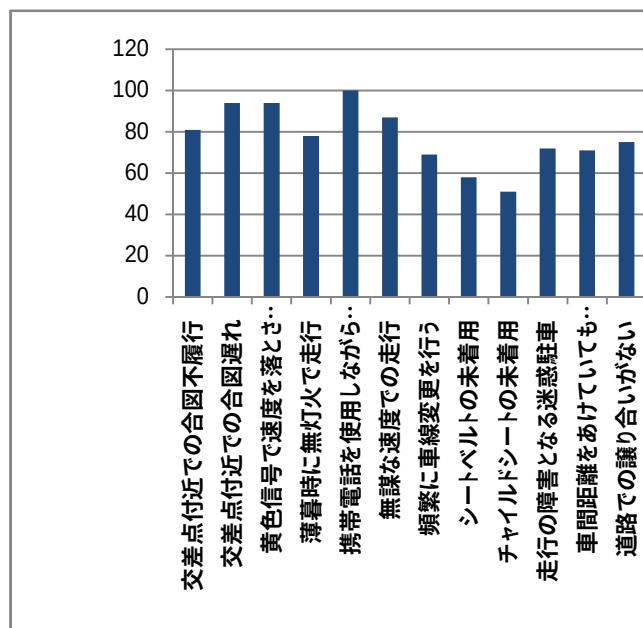
	件数	割合
かなり良い	4	3.3
良い	7	5.7
普通	57	46.3
すこし悪い	44	35.8
かなり悪い	8	6.5
未回答	3	2.4
計	123	100.0

*「すこし悪い」「かなり悪い」で42.3%を占め、「良い」「かなり良い」が8.9%である。
◆記述内容は別紙2



5. 特に目につく交通マナーの悪さは次のどれですか。（複数回答）

	件数	割合
交差点付近での合図不履行	81	8.7
交差点付近での合図遅れ	94	10.1
黄色信号で速度を落とさずに交差点に進入する	94	10.1
薄暮時に無灯火で走行	78	8.4
携帯電話を使用しながらの走行	100	10.8
無謀な速度での走行	87	9.4
頻繁に車線変更を行う	69	7.4
シートベルトの未着用	58	6.2
チャイルドシートの未着用	51	5.5
走行の障害となる迷惑駐車	72	7.7
車間距離をあけていても進入してくる	71	7.6
道路での譲り合いがない	75	8.1
計	930	100.0

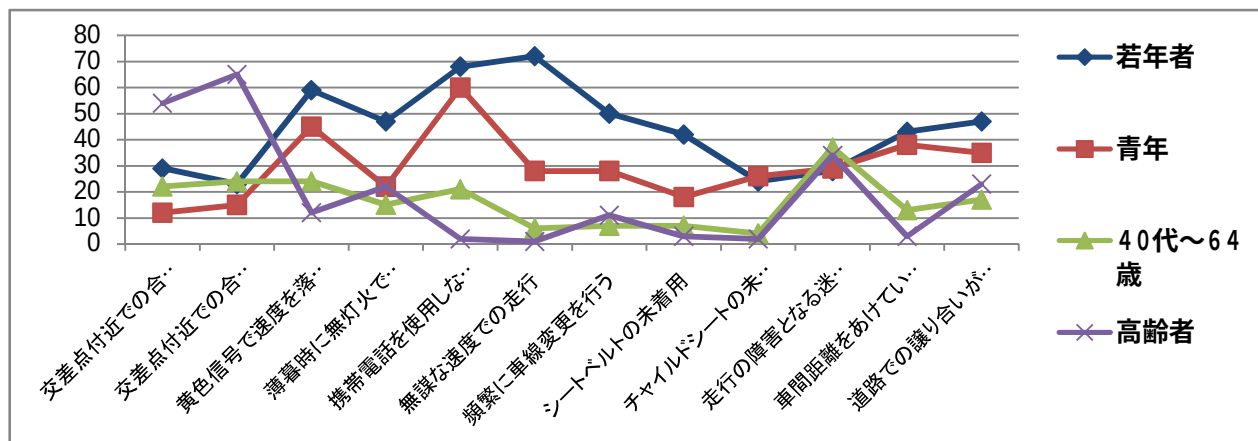


◎どの世代に見られますか。（複数回答）

	若年者	青年	40代～64歳	高齢者	計
交差点付近での合図不履行	29	12	22	54	117
交差点付近での合図遅れ	23	15	24	65	127
黄色信号で速度を落とさずに交差点に進入する	59	45	24	12	140
薄暮時に無灯火で走行	47	22	15	22	106
携帯電話を使用しながらの走行	68	60	21	2	151
無謀な速度での走行	72	28	6	1	107
頻繁に車線変更を行う	50	28	7	11	96
シートベルトの未着用	42	18	7	3	70
チャイルドシートの未着用	24	26	4	2	56
走行の障害となる迷惑駐車	28	29	37	34	128
車間距離をあけていても進入してくる	43	38	13	3	97
道路での譲り合いがない	47	35	17	23	122
計	532	356	197	232	1,317

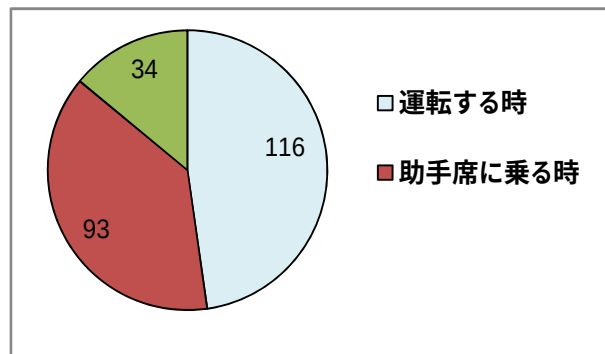
*若年者－20歳前後 *青年－40歳未満 *高齢者－65歳以上

*交差点付近での合図の遅れなどマナーの悪さが目につくのは高齢者、若年層の無謀な速度での走行、頻繁な車線変更が目についていることも窺える。また走行障害となる駐車も目についているようである。性別の回答は求めなかったが、女性に多く見られるとの記載もあった。



6. 自家用車でシートベルトをするのは、どのような時ですか。（複数回答）

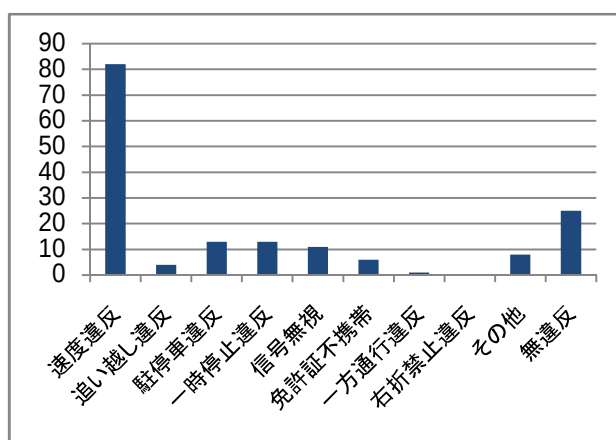
	件数	割合
運転する時	116	47.7
助手席に乗る時	93	38.3
後部座席に乗る時	34	14
計	243	100.0



*回答者は免許保持者が90%を超えていることから、運転する時と回答した者が多い結果となったと思われる。

7. 交通違反をしたことがありますか。それはどのような違反ですか。（複数回答）

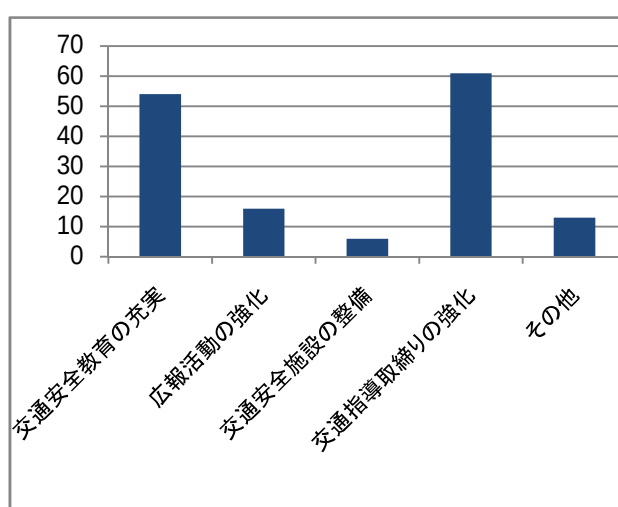
	件数	割合
速度違反	82	50.3
追い越し違反	4	2.5
駐停車違反	13	8.0
一時停止違反	13	8.0
信号無視	11	6.7
免許証不携帯	6	3.7
一方通行違反	1	0.6
右折禁止違反	0	0.0
その他	8	4.9
無違反	25	15.3
計	163	100.0



*速度違反が50%を占め、次に駐車違反・一時停止違反が8%、信号無視が6.8%である。
また、無違反者は、15.3%であった。

8. どのようにしたら自動車運転者の交通マナーが良くなると思いますか。（複数回答）

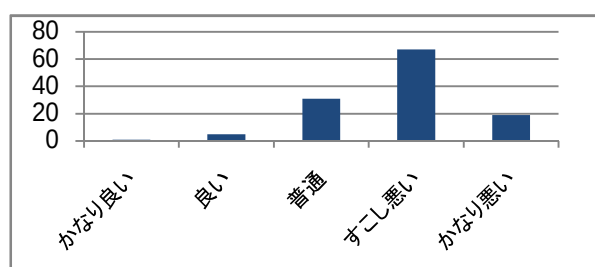
	件数	割合
交通安全教育の充実	54	36.0
広報活動の強化	16	10.7
交通安全施設の整備	6	4.0
交通指導取締りの強化	61	40.7
その他	13	8.6
計	150	100.0



*交通指導取締りの強化が40.7%、交通安全教育の充実が36%占めており取り締まりと教育で76.7%を占めている。

9. 自転車の交通マナーについてどう思いますか。

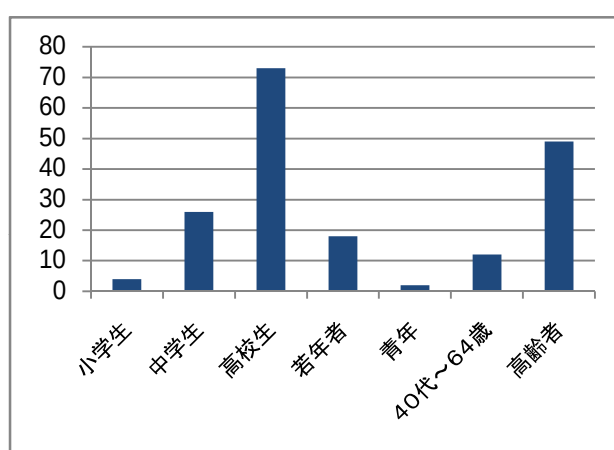
	件数	割合
かなり良い	1	0.8
良い	5	4.1
普通	31	25.2
すこし悪い	67	54.5
かなり悪い	19	15.4
計	123	100.0



*「すこし悪い」は54.5%、「かなり悪い」は15.4%となり、合わせると69.9%を占めている。
自転車の交通マナーの啓蒙が必要なのが窺える。

10. 自転車の交通マナーの悪いのはどの年齢層が目につきますか。（複数回答）

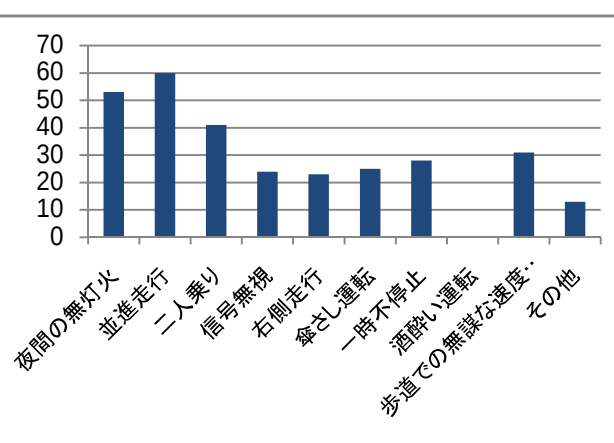
	件数	割合
小学生	4	2.2
中学生	26	14.1
高校生	73	39.7
若年者	18	9.8
青年	2	1.1
40代～64歳	12	6.5
高齢者	49	26.6
計	184	100.0



*高校生が39.7%、高齢者が26.6%を占めており、特に高校生への交通ルールの啓蒙が必要であることが窺える。また高齢者についても必要である。

11. 目につく自転車の交通マナーの悪さは次のどれですか。（複数回答）

	件数	割合
夜間の無灯火	53	17.8
並進走行	60	20.1
二人乗り	41	13.8
信号無視	24	8.1
右側走行	23	7.7
傘さし運転	25	8.4
一時不停止	28	9.4
酒酔い運転	0	0.0
歩道での無謀な速度での走行	31	10.4
その他	13	4.3
計	298	100.0

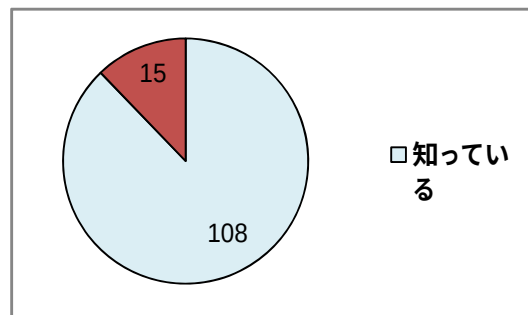


*「夜間の無灯火」「並進走行」「二人乗り」「歩道での無謀な速度での走行」の悪さが目につくが60%を超えている。特に並進走行が20.1%を占めている。

12. 自転車が軽車両であることを知っていましたか。

	件数	割合
知っている	108	87.8
知らない	15	12.2
計	123	100.0

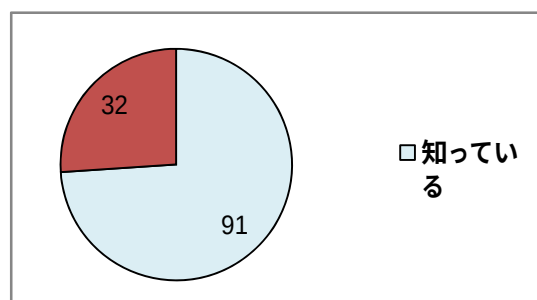
*87.8%の方が軽車両であることを知っている。



13. 自転車運転者の悪質違反者には交通切符が適用されることを知っていましたか。

	件数	割合
知っている	91	74.0
知らない	32	26.0
計	123	100.0

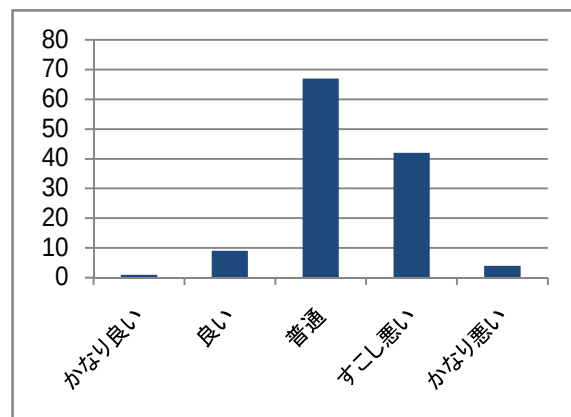
*74%の方が知っている。



14. 歩行者の交通マナーについてどう思いますか。

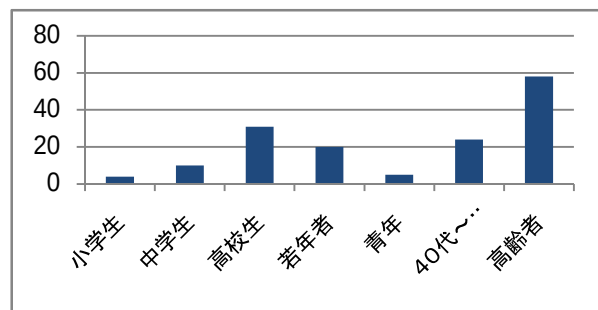
	件数	割合
かなり良い	1	0.8
良い	9	7.3
普通	67	54.5
すこし悪い	42	34.1
かなり悪い	4	3.3
計	123	100.0

*良いと感じている方が8%程度であり、まだまだ歩行者のマナーの悪さが目につくことが窺える。



15. 歩行者の交通マナーの悪いのはどの年齢層が目につきますか。（複数回答）

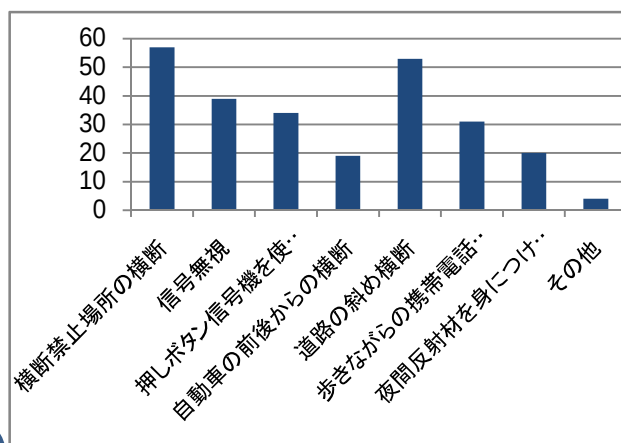
	件数	割合
小学生	4	2.6
中学生	10	6.6
高校生	31	20.4
若年者	20	13.1
青年	5	3.3
40代～64歳	24	15.8
高齢者	58	38.2
計	152	100.0



*歩行の機会が多いこともあると思うが、高齢者が最も多く38.4%を占めている。他の年齢層でも目につくが、小学生・中学生はマナーが良いことが窺える。

16. 目につく歩行者の交通マナーの悪さは次のどれですか。（複数回答）

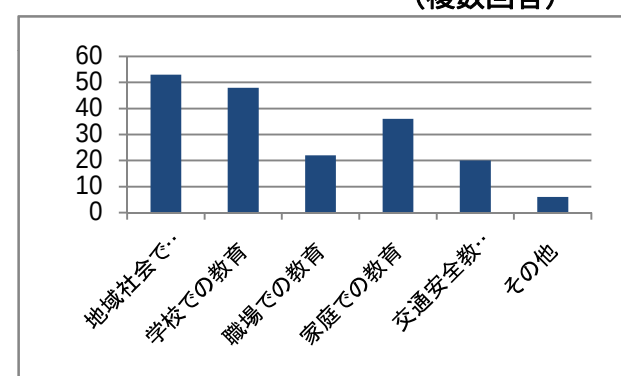
	件数	割合
横断禁止場所の横断	57	22.2
信号無視	39	15.2
押しボタン信号機を使用せず横断	34	13.2
自動車の前後からの横断	19	7.4
道路の斜め横断	53	20.6
歩きながらの携帯電話使用	31	12.1
夜間反射材を身につけずに歩行	20	7.8
その他	4	1.5
計	257	100.0



*「横断禁止場所での横断」「道路の斜め横断」が42.8%を占め、道路横断のマナーの悪さが目につくことが窺える。また「信号無視」「携帯電話の使用」が27.2%を占めている。

17. 交通安全教育を効果的に推進するには、どのような教育が効果的と考えますか。（複数回答）

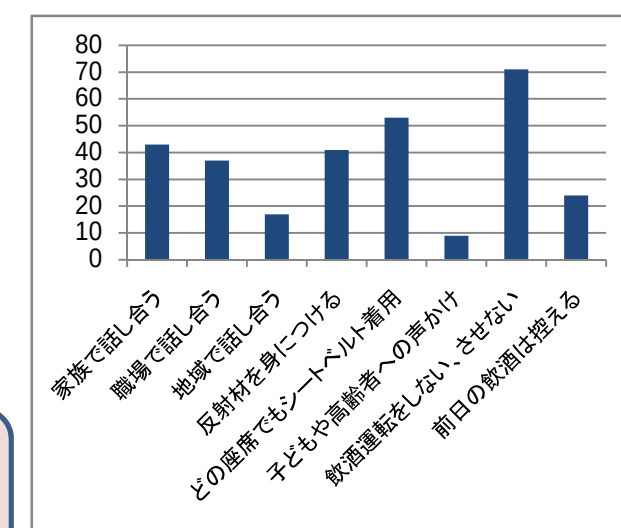
	件数	割合
地域社会での教育	53	28.6
学校での教育	48	26.0
職場での教育	22	11.9
家庭での教育	36	19.5
交通安全教育施設での教育	20	10.8
その他	6	3.2
計	185	100.0



*地域社会・学校での教育が54.6%を占めている。次いで家庭・職場となっている。

18. 交通安全に関する取り組みとしてどのようなことを実施していますか。（複数回答）

	件数	割合
家族で話し合う	43	14.6
職場で話し合う	37	12.5
地域で話し合う	17	5.8
反射材を身につける	41	13.9
どの座席でもシートベルト着用	53	18.0
子どもや高齢者への声かけ	9	3.0
飲酒運転をしない、させない	71	24.1
前日の飲酒は控える	24	8.1
計	295	100.0



*「飲酒運転をしない、させない」が24.1%を占めており、飲酒運転に対する意識の高いことが窺える。

19. 日頃、交通安全についてお気づきの点がありましたらご記入願います。

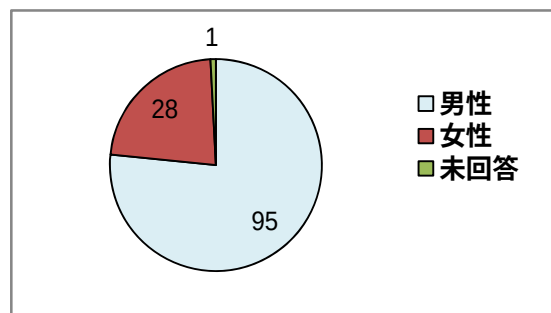
◆記述内容は別紙3

20. あなたのプロフィールについてお尋ねします。

(1) あなたの性別は

	件数	割合
男性	95	77.2
女性	28	22.8
未回答	1	0.8
計	123	100.0

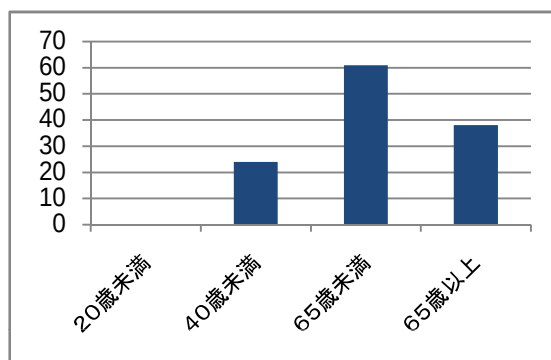
*男性が77.2%を占めていた。



(2) あなたの年齢は

	件数	割合
20歳未満	0	0.0
40歳未満	24	19.5
65歳未満	61	49.6
65歳以上	38	30.9
計	123	100.0

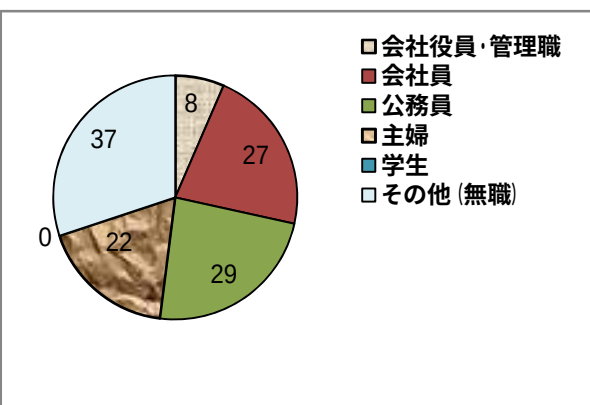
*40歳～65歳未満が49.6%、65歳以上が30.9%を占めていた。



(3) あなたの職業は

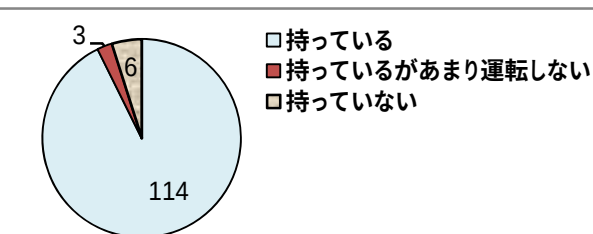
	件数	割合
会社役員・管理職	8	6.5
会社員	27	22.0
公務員	29	23.6
主婦	22	17.9
学生	0	0.0
その他(無職)	37	30.0
計	123	100.0

*会社員・公務員が45.5%、役員・管理職が6.5%を占めていた。



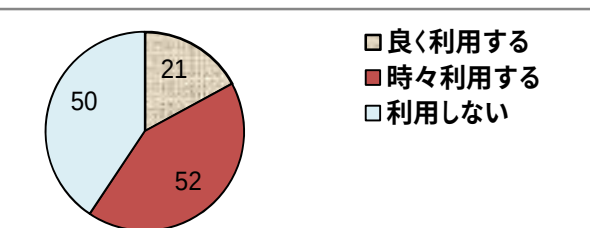
(4) あなたは運転免許を

	件数	割合
持っている	114	92.7
持っているがあまり運転しない	3	2.4
持っていない	6	4.9
計	123	100.0



(5) 自転車は

	件数	割合
良く利用する	21	17.1
時々利用する	52	42.3
利用しない	50	40.6
計	123	100.0



3. 交通安全教育や意識高揚のためにどのようなことを行っていますか。

記 述 内 容	
全市的な活動	「旗の波」運動参加
	街頭啓発運動への参加
職 域	2段階停止、一本橋の実施
	SKYT、朝のミーティング、DVDの活用
	安全運転とエコに対する意識の高揚
	運転手と毎月安全会議
	会議や会報等で反復指導
	会議等での交通安全について周知徹底
	会社全体でのセーフティラリーへの参加
	各期の交通安全運動に合わせ、踏切事故防止キャンペーン実施
	危険箇所マップの作成
	危険予知訓練（DVDとボード）
	交通安全キャンペーンと街頭でのPR活動
	管理者から周知
	交通安全情報（道警発行）を回覧
	交通安全に対する社員教育
	交通安全旗の設置
	公用車へのステッカー装備
	常務前点呼時の注意事項
	職場で文書等での啓発
	職場ミーティング等で安全運転教育を行っている
	セーフティラリーへの参加
	滝川警察署より講師を招いての交通講話会
	月1回の安全教育指導
	安全祈願祭
	出かける時には必ずスピードの出しすぎ、左右確認注意
	出前の交通安全講習を受講（年2回）
	点呼時のスローガン唱和
	添乗、同乗訓練
	年1回以上の交通大会開催
	パトライト作戦
	春、冬2回の安全運転講習を開催
	連休前の注意喚起をメールで配信
	文書やメールによる情報提供、啓発活動
	毎朝礼時に「交通安全スローガン」の唱和
	文書やメールによる情報提供、啓発活動
	毎朝礼時に「交通安全スローガン」の唱和
地 域・団 体	交通安全旗の設置
	交通防犯パトロールの実施
	通学路交差点での交通立哨
	夜光反射材キーホルダー等をジャンパー等につけている
	老人クラブの「ゆっくり歩こう運動」旗の波運動の実施
	車に乗る時にはシートベルト、歩行時は顔を上げて歩く
	交通安全に関する講演会や冬道講習会等の参加
家 庭	朝の一言声かけ
	家庭内での交通事故防止について話し合い
	無理をしない、あせらない、事故を起こすのは運転する者自身

4. 自動車運転者の交通マナーについてどう思うか。

	記 述 内 容
走 行 中	あおられることがある
	運転中の携帯電話の使用
	キーブレフトなど基本的なマナーが守られていない
	急な進路変更
	銜えタバコでの運転が目につく
	後続車に対する配慮が足りない（特に中高年女性）
	子どもを抱きながらの運転者を見かける
	自分勝手な運転
	車間距離が短い
	若年者の速度違反
	狭い市道での高速運転
	タバコのポイ捨て
	チャイルドシート等を使用せず乗車（子どもの安全を考えていない）
	冬季なのに夏季並みの自動車運転
	流れに沿った運転がされていない
	二車線での中央走行や並行走行
	無理な追い越しが多い
	譲り合いの心を持たない運転者が多い
交差点等	赤信号での走行
	一時停止ラインできっちり止まらない
	ウインカーを出すのが遅い
	黄色信号でも停止する意志がない
	黄信号で停止した時に追い越しされた
	交差点等での速度及び減速無視
	信号前の割り込み
	見通しが悪いところでいきなり車が出てくる。
駐車（駐車 場含む）	駐車マナーが悪い
	障害者ゾーンへの健常者の駐車
	路上駐車が多い
そ の 他	冬季に自転車での走行
	高齢者の運転マナーが悪い
	高齢者の運転技術の劣化
	道路に雪を出して狭くしている

19. 交通安全についてお気づきの点がありましたらご記入ください。

	記 述 内 容
1 交通安全運動	朝一日では意味がない
	意識高揚に良い
	一時的なもので効果は疑問
	一日だけでは効果が期待できない
	一過性でありムードづくりで終わっているよう。(参加者は地域、職場等で教育すべき)
	各職場単位でも開催
	気が引き締まる
	継続することに意味がある
	効果なし
	効果に対する根拠が不明なので中止したほうが良い
	交通の流れから12号バイパスが良いのでは
	交通量の多い危険個所での交通安全運動の取り組み
	高齢者も参加
	個別に対応することが効果大
	今後も規模を大きくして実施すべき
	時間帯の分散化
	地域力の発揮の場・三世代交流の場としても効果的
	注意が旗に行ってかえって危ないのでは。あまり効果が期待できない。
	通学路の交差点等複数個所での運動が必要
	2 高齢者に対する交通安全対策
場所、時間帯をかえてはどうか	
旗持ち立哨は効果が期待できないので他の運動方法も検討すべき	
毎年の恒例行事という思い	
マンネリ化であまり効果がないのでは	
もっと多くの方が参加するとよい	
ショッキングなビデオを見せる	
あらゆる機会に指導	
運転の適性、不適正を厳格にし免許返上を勧告できるようにする	
家庭内での話し合いが大切	
危険運転の指導(右左折の際膨らむ・一時停止の徹底)	
車に向かってくる人がいる	
交通安全施設の整備と運転者、歩行者の身体の衰えを自覚する方策	
交通ルールを理解度が不足している。(パンフ等では効果は期待できない)	
シニア跨線橋交差点での事故減少対策	
信号機等を増設し、道路横断を容易にする	
信号のない国道での横断(老人クラブ、福寿大学での啓蒙)	
地域別に交通安全教室の開催	
町内会での講習実施	
町内会等で取り組んだほうが良い	
定期的な講習	
冬期の自転車禁止	
冬期の自転車利用	
薄暮時の反射物品の携帯励行	
反射材の常用	
反射材の無料配布	
冬は歩道を歩かず車道に出てくる	
冬道での自転車利用を取り締まる(運動神経も鈍化)	
マニュアルからオートマに変更した際の指導	
免許証返納時に一定期間のバス無料バス等の特典を検討	
乱横断者への指導	
老人会、町内会等で繰り返し交通安全教育を実施し、安全グッズを積極的に販売する	

	記 述 内 容
3 交通安全講習会	市街地での自転車、歩行をしない自動車運転者への現地体験指導 改めて安全について再認識する場 大人数よりも少ない人数での講習会の実施 改正交通ルールの周知のため必要 高齢者にわかりやすいビデオ等により講習 参加者は限られた人だけ 実例をあげての講習会 地域、職場などでの教育 地域での教育 町内会で年1回講習会の実施 免許更新時講習において事象事例を示し、原因や基礎知識等再認識させる。 免許更新時ばかりでなく様々な機会に実施すべき
4 シートベルト着用	個人の自覚 大型店での指導 交通指導員等による現地指導 子どもの安全についていい加減な人が多い。取り締まるべき 職場、赤ちゃん検診時に実施 地域、職場ごとに行ったほうが良い 着用は年齢ではなく体格にしてほしい 取り締まりの強化 ベルト着用は徹底すべき 保護者（特に母親）への指導強化 本人の自覚大であり、取り締まりの徹底要 レンタルの普及
5 自転車利用者対策	高齢者に対する運転指導 違反運転者への処罰を強化 学校・町内会ごとに講習会の開催 学校単位での講習 学校できちんと指導すべき 学校で講習をしたほうが良い 学校での教育の徹底 学校での指導、先生が立哨し注意をする 危険がこんなにもあるという観点での啓蒙 公共施設（特に滝川駅）の駐輪場設置 交通法規を守るべき 自転車通行帯の設置 市内の自転車レーンの普及 スピードの出しすぎに注意 地区において安全講習 中高校生への指導強化 冬期間の自転車利用はしないようにする 斜め横断、信号無視 二人乗り、並行走行は厳禁 冬に利用している方を見かけるが危険 冬の自転車走行の危険性を講習してほしい。 歩行者への安全対策、無灯火・一時停止の指導 夜間の無灯火の取り締まり
6 その他	長距離トラックへのマナーの徹底 家庭、職場、学校において教育、話し合い等により交通安全意識の高揚を図る 交通事故多発地区を地図で表示し市民に知らせる 交通弱者自身にも交通マナーを周知することが不可欠 事故をおこした後のことを語られることはない。実例をあげながら啓蒙 どのように市民に知らせ、知ってもらうかが大切 冬道は雪山が多く要注意